



「服」って、「福」？！

平成3年（1991年）2月9日より「服の日」が制定されてから28年がたちました。教育関係ではかなり広がっているものの、業界では、今ひとつ盛り上がりませんが、そんななかで今年は、一部で「キモノの日」というイベントも行われたようで広い意味で服が広がり、それこそ幸せを表す「服」＝「福」の日であってさらに広がって欲しいものです。

教育の行事としては、今年34回目にあたる「全国ファッションデザイン画コンクール」の表彰式が、東京のアルカディア市ヶ谷（私学会館）で行われました。グランプリである「文部科学大臣賞」には原野彩さん（香蘭ファッションデザイン専門学校）、「経済産業大臣賞」は長井桃子さん（名古屋ファッション専門学校）が受賞しました。文化服装学院からは、繊維ファッション産学協議会理事長賞に長沼美空さんが選ばれました。その他、各優秀賞も合わせて表彰されました。

続いて、30年以上服飾教育に貢献してきた人たちに贈られる「服飾教育功労賞」は、東洋学園の小寺克一先生をはじめ、10名に贈呈されました。文化服装学院からは増田大助、西平孝子両先生が受賞しました。その後、「お祝いの会」を関係者も多数集まり、受賞者たちに喜びを伝え、労って終了しました。



「繊維ファッション産学協議会理事長賞」を受賞した文化服装学院の長沼美空さん（中央）



「文部科学大臣賞」を受賞した香蘭ファッションデザイン専門学校の原野彩さん（右）



「経済産業大臣賞」を受賞した名古屋ファッション専門学校の長井桃子さん（右）



「服飾教育功労賞」を受賞された皆様。



「服飾教育功労賞」受賞後、ご挨拶される東洋学園の小寺克一先生